

## 議会運営委員会所管事項調査報告書

期 日	平成29年10月16日(月)～17日(火)
訪問先	広島県呉市
出席者	川口 仁 委員長、高橋 豊 副委員長、瀧口 慎太郎 委員、 釘丸 久子 委員、新川 勉 委員、神子 雅人 委員、田上 祥子 委員、 新井 啓司 委員、岸田 裕一 事務局長
随行者	青木係長
調査項目	委員会活動の充実と議会改革の取り組みについて
調査内容	<p>平成22年6月に制定した呉市議会基本条例に基づき議会改革が進められている。議会報告会の開催、政策研究会による政策立案、強い議会を支える使える図書室の整備等である。</p> <p>図書室の充実については、2万円であった図書購入費を、25年から15万円に、29年度には30万円と増額した。さらに28年4月には司書(嘱託)を配置し、レファレンス機能を強化し、議員の様々な調査に対応できるようになってきた。また、27年11月から呉市立図書館及び広島県立図書館との連携、9月には広島修道大学と連携することで、予算内で補えない蔵書の充実のほか、公立図書館・大学図書館の知識のインフラを活用することができた。</p> <p>委員会活動の事務調査については、執行機関の行政報告に加え、独自にテーマを決めて調査・研究を行い、委員会が現状を把握上で問題点を指摘し、解決策を考え、執行機関に政策提案している。</p>
主な質疑	<p>Q 議員個別メールサービス・イナズマのキーワードは何件登録可能か。 A 3つまで設定し、司書が情報を検索し、情報を配信している。</p> <p>Q 司書に専門性が問われるが、何か工夫していることはあるのか。 A 会議録を読むなど能力を高めている。また、執行機関のレファレンスを受けることで行政全般の理解につながってきている。</p> <p>Q 教えて呉市議会は、小学校6年生限定か。また、模擬議会とは何か。 A 小学校6年生限定で教育委員会に選んでもらっている。教育委員会が主催する中学生を対象としたふれあい夢議会では、選抜された中学生が議長、執行機関の職員となって模擬体験している。議決した政策提言は少額の予算であるがその範囲内で執行される。</p> <p>Q タブレット端末導入による費用対効果で現れないメリットはあるか。 A 議員への情報提供で、ファックス送信の場合は、1件当たり20～30分かかっていた。また、何らかの事由により受信されない場合があったが、一斉送信で瞬時に完了する。</p> <p>Q 所管事務調査の政策提案の中に条例提案の実績はあるのか。 A 呉市の議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例を本年3月定例会で可決・制定した。</p>